

第4回「明日の京都の高速鉄道検討委員会」

開催概要

これまでの委員会での議論における補足説明

- 過去の委員会における議論について事務局から補足説明

関西空港アクセスについて

- 「はるか」がきちんと利用できるものになるよう申し入れるべき。
- リニア中央新幹線を「名古屋～京都～大阪～関空」と敷くといい。
- 滋賀県も京都府と同じ条件なので、連携して取り組みたい。
- 「はるか」の定時性が確保されても、関空の魅力がないと無意味。
- 日本は「言い出しちゃが負担をする」構造になっているが、「なにわ筋線」等についても「必要なものは必要だ」と主張していった方がいい。
- 先立つ財源が必要であることを主張し、関空アクセスをより便利にする方向で実現していきたい。

リニア中央新幹線について

- 「今さら無理だ」と言わず、京都市内案をぶつけるべき。妥協は後でよい。
- 京阪神の中で、京都が一番落ち着く。「なんでもかんでも京都へ」という方向で本当にいいのか。
- 出遅れたからこそ、インパクトのあるやり方で主張していく。
- 定量的かつ総合的な判断の上で、先入観抜きにルートを選ぶことが、国民にとっていいことである。
- 京都で作った委員会なので、大所高所からの視点は大事だが、京都を強く意識して打ち出してもいい。
- 「京都として主張していく」とことと「全体で見て検証しながら結論を出していく」ことを踏まえ、次回の委員会へ進みたい。